

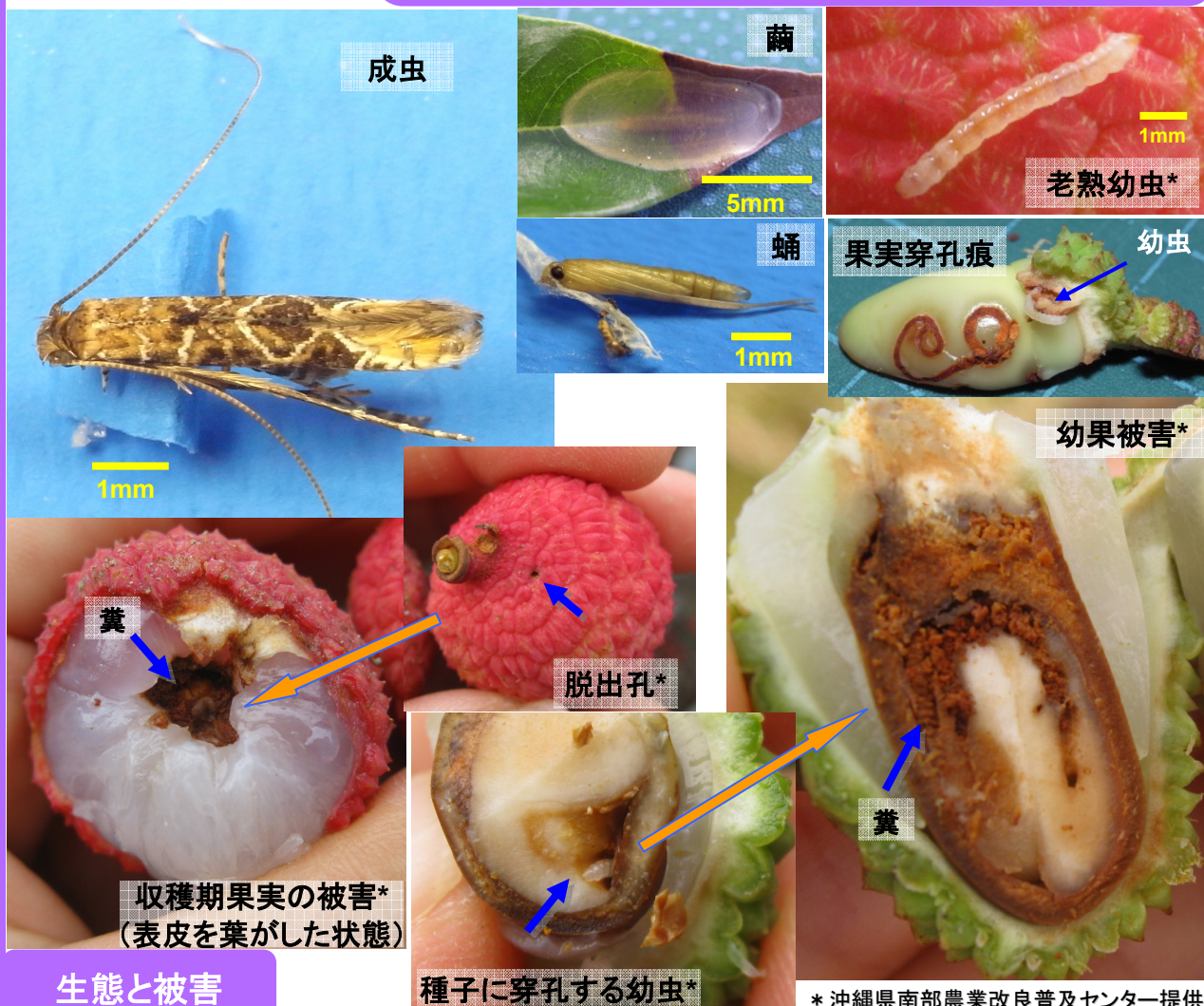
平成23年度病害虫発生予報第3号(6月予報)

＜お知らせ＞ 平成23年3月末をもって、北部駐在は閉所となりました。
台風シーズンの病害虫防除対策についてのコラムがあります(9ページ参照)。

今月のトピックス

レイシシロズホソガ(レイシ)

学名: *Conopomorpha sinensis*



* 沖縄県南部農業改良普及センター提供

成虫の開翅長10mm、前翅は明～暗灰色で、前翅頂には黄白色斑紋を呈する。頭部の鱗毛が鮮やかな白色。寄主植物はムクロジ科レイシ、リュウガンの他、マメ科エビスグサなどの果実に寄生する。卵は単粒でレイシ果実のへた近く表面、新芽、若葉裏に生み付けられる。果実上でふ化した幼虫はすぐに果実表面から穿孔し、へた近くの果肉と種子の間を摂食し、ときに種実内にも食入する。穿孔痕には幼虫の糞が充満している。被害を放置すると落果の原因にもなる。老熟幼虫は果実の外に出て成葉の表面に薄い半透明の繭を作るが、果実が落果した場合、周辺の落葉に繭を形成し、その中で蛹化する。被害果実は一見健全な果実と区別がつかないことから、消費者の手に届いて被害に気がつくことが多い。栽培の盛んな台湾ではレイシの最重要害虫として位置づけられている。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

平成23年6月1日
沖縄県病害虫防除技術センター